

## 鳴門市林崎小学校で河川環境学習を開催しました。

林崎小学校4年生の児童を対象に、川の役割や水害から暮らしを守る取り組みを学習しました。また、水の汚れの原因について考え、川をきれいにするために自分たちができることを学びました。さらに、地元ボランティアグループの指導によるEM団子作成も行われました。

### 【実施概要】

日 時：平成23年6月8日(水) 13:30～15:15

場 所：林崎小学校 視聴覚室

参加者：林崎小学校 4年生 3クラス 83名  
徳島県東部県土整備局 鳴門庁舎 3名  
フジタ建設コンサルタント 6名  
地元ボランティアの方々 10名

内 容：1 川を学ぼう 徳島県東部県土整備局 鳴門庁舎  
2 水の汚れの原因(水質判定の実験) フジタ建設コンサルタント  
3 EM団子作成 地元ボランティアの方々

感 想：大切な役割を担っている川が、ゴミや生活排水で汚れていることがよくわかりました。  
川がよごれている主な原因が人間であることを知り、河川環境学習を受けた私たちが川をきれいにしなければならないと思いました。  
また河川学習に参加してもっと川について考えてみたいです。

### 【活動状況】

#### ○「川を学ぼう！」



川が人々の生活にどのように役立っているか、またそのためにどんなことが行われ、利用されているかを学びました。

「川でどんなことをしますか？」の質問に活発に手が挙がっていました。日頃から川に親しんでいることが感じられました。

結果は ①バーベキュー ②泳ぐ ③釣り でした。





川の役目として、水を海へ流したり、農業用水、水道水に利用されていること、また人々が集まる憩いの場所であったり、いろいろな生き物を育てていることを学びました。また、水害時の危険場所や避難場所を示すハザードマップや、大雨や川の情報を素早く知る方法について学びました。



「ポンプはいくらぐらいの水が入るのですか?」「徳島にはいくつの川がありますか?」などの活発な質問がでました。

#### ○「水の汚れの原因」

水の汚れの原因について水質判定の実験を行いました。



ペットボトルに入ったきれいな水、濁った水を並べ、濁った水はどこの川の水か予想しました。



### [水質判定の実験]



水質判定の実験では撫養川、七枚水尾川の水の汚れの原因として身近にあるしょうゆ、牛乳など 8 種類の液体を水道水に混ぜ、CODを計測しました。

その結果、CODの値が100の液体があり、驚きの声があがっていました。

### [透視度の計測]



代表児童が透視度計測を行いました。

計測結果は、

撫養川(城見橋)  
(86 c m)

七枚水尾川  
(50 c m)

川を汚す原因のほとんどが生活排水であることを知り、水質判定の実験では、生活の中で川の水をきれいにするために自分たちができることを学びました。

### ○「EM団子作成」

地元ボランティアの方々からEM団子についての話を聞き、みんなで協力してたくさんのEM団子を作りました。各クラスにも置いて乾燥させ、後日、学校の前を流れる七枚水尾川に投入します。

